

今、注目すべき魅力的な都市のトルコ首都アンカラ 「アンカラ国際コンテンポラリーアートフェア」も3月開催



アンカラ旧市街の街並み

アナトリアの肥沃な大地に囲まれたトルコの首都アンカラは、古代の超大国ヒッタイトをはじめ、フリギア人、ガラテヤ人、ローマ人など、何世紀にもわたって多くの文明の拠点となってきました。首都として100年の歴史を持つアンカラには、古代の遺跡から素晴らしい近代建築やアートフェアまで、知る人ぞ知る多く魅力的なスポットや催しが数多くあります。

例えば、3月7日（木）から3月10日（日）の4日間は、「アンカラ国際コンテンポラリーアートフェア」がアンカラ商工会議所コングレジアムで開催されます。後援にはトルコ文化観光省も名を連ねており、トルコ国内外からギャラリー、美術館、アート関連機関、アーティスト、アート愛好家が参加し、ライブパフォーマンス、パネルトークショー、コンサート、画家の名画をファッションで表現するファッション・ショーなどが予定されています。

公式サイト：<https://artfairankara.com>

アンカラのユネスコ世界遺産の数々

昨年、アンカラのボラトゥル地区にあるゴルディオンの壮大な古代都市がユネスコ世界遺産に登録されました。フリギア人の政治的・文化的首都であったゴルディオン地域は、約4500年間人が住み続け、伝説のミダス王の本拠地としても知られ、王の古墳は「世界で3番目に大きい古墳」とされています。

アヒ・シェレフェッディン・ジャーミイも、昨年「中世アナトリアの木造多柱式ジャーミイ」という名目でユネスコ世界遺産に指定された5つのジャーミイの一つです。現存するジャーミイの中でトルコ最古の建物の一つであり、24本の荘厳な木製の柱と大理石の柱頭が特徴です。

偉大な指導者、ムスタファ・ケマル・アタテュルク

アンカラで最も重要なランドマークの一つが、トルコ共和国の創始者ムスタファ・ケマル・アタテュルクの終焉の地であるアストカビルです。アンカラの中心部アヌットテペに位置するこの荘厳な霊廟は、75万平方メートルもの広さを誇り、昨年2023年の建国記念日（10月29日）には、100万人以上の人が訪れました。ライオン像が並ぶライオンロード、式典広場、アタテュルク廟の3つの主要部分からなるアストカビルには、アタテュルク・独立戦争博物館もあり、近代国家の発展の様子を知ることができます。

旧市街の散策

旧市街には、アナトリア文明博物館、アンカラ古代の家々、ジャーミイ、その他の歴史的建造物が並んでいます。中でも、元々は駐屯地として建てられたアンカラ城は市街を一望できる人気の観光スポットです。カレイチ地区も木造や日干しレンガ造りの2~3階建てのアンカラ様式の家々が狭い通りに並んでおり、一見の価値があります。これらの由緒ある建造物のほとんどは、ホテルや土産物屋、カフェ、レストランに改装され、現代も街の特色を表しています。

過去の建造物と歴史を探索

アンカラの街の輪郭を形作ってきた多くの建造物は、共和国時代の建設ブームで建てられたもので、例えば民族学博物館と絵画・彫刻博物館は、共和国時代の象徴的な建物となっています。アナトリア文明博物館もアナトリアの豊かな文化史を学ぶ上で外せない場所で、オスマン帝国の歴史的建造物2棟をリノベーションしたこの博物館の素晴らしいコレクションは、旧石器時代から年代順に展示されたアナトリア地方特有の遺物で構成されています。1997年には、「ヨーロッパ年間最優秀博物館」にも選ばれ、世界有数の博物館として知られています。



アンカラ絵画・彫刻博物館

栄光のローマ遺産

ローマ皇帝ユリアヌス（紀元361~363年）のアンカラ訪問を記念して建てられたとされるユリアヌスの柱をはじめ、ローマ時代の遺跡も数多く残されています。また、セプティミウス・セウェルスの息子であるローマ皇帝カラカラが健康の神アスクレピオスの名のもとに3世紀に建てたローマ浴場や、ローマ皇帝の名を冠したアウグストゥス神殿も見学することができます。



ローマ浴場

文化のオアシス

文化の中心地であるアンカラでは、アンカラ・オペラハウス、アンカラ城とアストカビルの間にあるモダンな大統領交響楽団（CSO Ada）、南部のセルモダン（CerModern）といった重要なランドマークでコンサートやイベントを楽しむことができます。

トルコについて

地中海沿岸に位置し有名なボスポラス海峡が隔てるアジアとヨーロッパを結ぶトルコは、何世紀にもわたり文化的な交流と多様性の拠点と考えられてきました。多様な文明が反映された歴史、遺跡、自然や美食を有し、多目的なデスティネーションです。伝統とモダンが融合した芸術やファッションをはじめ、ダイナミックなショッピングやエンターテインメントライフによって世界中から訪れる人々を魅了し続けています。2023年には全世界から5,670万人の観光客を迎えました。2023年にトルコ共和国として建国100周年を迎えたのに続き、2024年は日本との外交関係樹立100周年を迎えます。

トルコの詳細は公式ウェブサイト (<https://goturkiye.jp/>) または以下のSNSをご覧ください。

Facebook: <https://www.facebook.com/GoTurkiye.jp>

X(Twitter): https://twitter.com/GoTurkiye_jp

Instagram: https://www.instagram.com/goturkiye_jp/

YouTube: <https://www.youtube.com/c/tourismturkeyjp>

トルコ観光広報・開発庁 (TGA) について

トルコ観光広報・開発庁 (TGA) は、国内外の観光市場においてのトルコのブランディングを確立させ、観光やビジネスにとって魅力的な渡航地としての認知を高めるため、文化観光省が定めた観光戦略や政策に基づき、あらゆるプロモーション、マーケティング、コミュニケーション活動を行っています。世界各地の現在の観光機会を促進・販売するとともに、観光の潜在的分野を発見・改善・確立していきます。

<本リリースに関するお問い合わせ>
トルコ共和国大使館 文化観光局 広報代理店
キャンドルウィック株式会社 (担当: 新村)
Email: t-turkiye@candlewick.co.jp
Tel: 03-6261-6050 Fax: 03-6261-6051